

## 世界人材ランキングで引き続き首位を維持したスイス

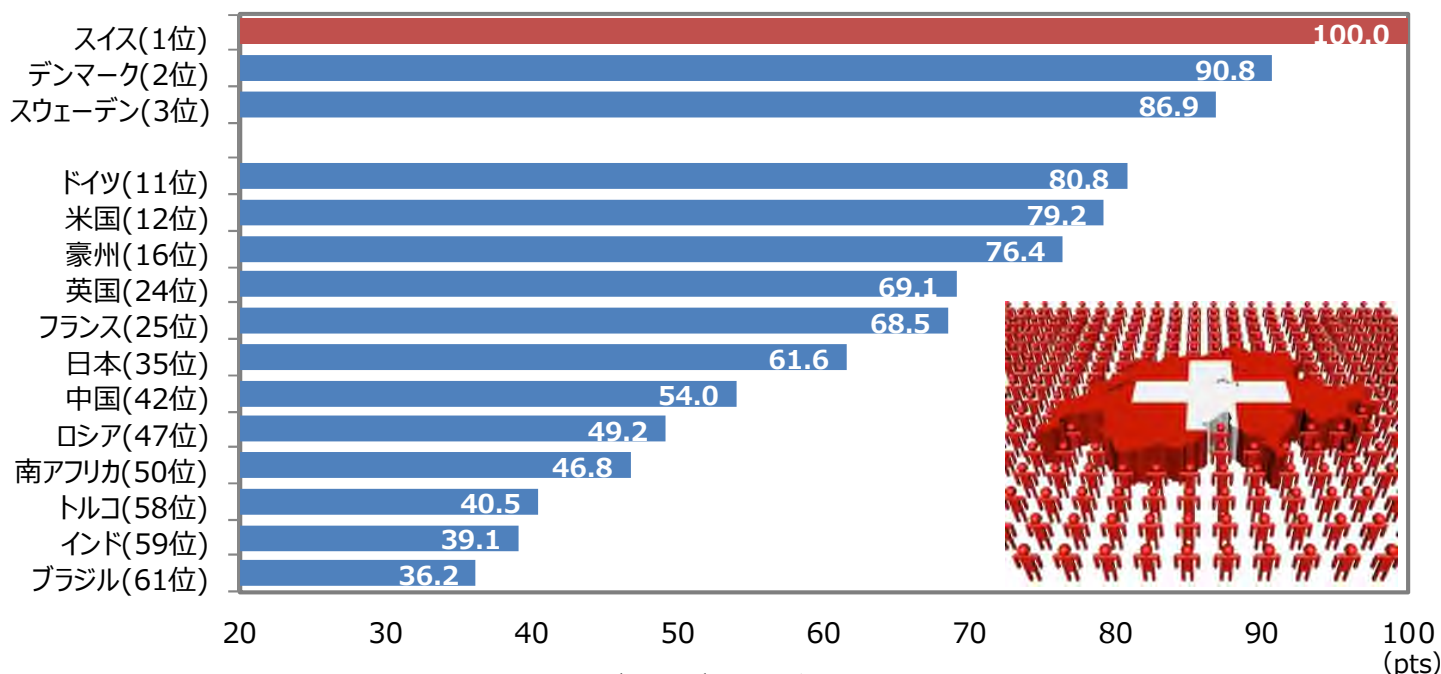
IMD（国際経営開発研究所）が11月に発表した優秀な人材を確保する力を数値化した「世界人材レポート（調査対象：63か国・地域）」の2019年版によると、100.0ポイントを獲得したスイスが80.8ポイントのドイツ（11位）や79.2ポイントの米国（12位）、61.6ポイントの日本（35位）などを大きく引き離して首位を維持しました。

世界人材ランキングを構成する3つのサブ・インデックスのうち、高度な熟練外国人技能者にとって魅力的なビジネス環境や経営者および専門サービス職の報酬の高さ、物質面での快適性や健康、人間関係、働きがい、人生におけるその他の条件などを総合した生活の質が牽引した「人材にとっての魅力」は首位を維持しています。

一方、労働力人口の伸びの低さが引き続き足かせとなった「人材活用の準備性」は2位にランクダウンしましたが、学校教育と職業訓練を並行して行う独自のデュアル教育システムや医療インフラの質の高さなどが評価された「人材への投資と育成」は4位から2位にランクアップして他の主要国と比べた全体的なバランスの良さを際立たせています。

この様な中、製薬大手ノバルティスは10月2日に基礎研究から商業化に至る過程でAI（人工知能）の活用を強化して革新的な医薬品の開発を一段と加速させることを目的に米マイクロソフトと提携したと発表しており、これらの優秀な人材や高度な技術をひきつける力はスイスの株式市場の魅力を高める要因の一つになると考えられます。

【2019年の世界人材ランキング】



【世界人材ランキングのサブ・インデックスの順位の推移】

|       | 人材への投資と育成 |     |     |     | 人材にとっての魅力 |     |    |     | 人材活用の準備性 |     |     |     |
|-------|-----------|-----|-----|-----|-----------|-----|----|-----|----------|-----|-----|-----|
|       | スイス       | ドイツ | 米国  | 日本  | スイス       | ドイツ | 米国 | 日本  | スイス      | ドイツ | 米国  | 日本  |
| 2016年 | 5位        | 11位 | 26位 | 20位 | 1位        | 9位  | 2位 | 21位 | 1位       | 18位 | 21位 | 51位 |
| 2017年 | 5位        | 10位 | 29位 | 18位 | 1位        | 8位  | 2位 | 22位 | 1位       | 15位 | 24位 | 48位 |
| 2018年 | 4位        | 10位 | 28位 | 23位 | 1位        | 6位  | 2位 | 28位 | 1位       | 21位 | 23位 | 41位 |
| 2019年 | 2位        | 11位 | 15位 | 30位 | 1位        | 9位  | 2位 | 26位 | 2位       | 14位 | 28位 | 49位 |

出所：IMD『World Talent Ranking 2019』より作成

期間：（下図）2016年～2019年 世界人材ランキング指数は0～100ポイント イラストはイメージです。

## [投資信託をお申込みに際しての留意事項]

## | 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客さまのご投資された金額を下回ることもあります。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

## | 投資信託に係る費用について

ご投資頂くお客さまには以下の費用をご負担いただきます。

|                          |                                                                                                                       |
|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 購入時に直接ご負担いただく費用          | 購入時手数料 上限3.85%（税込み）                                                                                                   |
| 換金時に直接ご負担いただく費用          | 信託財産留保金 上限0.5%                                                                                                        |
| 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用 | 信託報酬 上限2.09%（税込み）                                                                                                     |
| その他の費用等                  | 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。<br>「その他の費用等」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。<br>交付目論見書、契約締結前交付書面等でご確認下さい。 |

※当該手数料等の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、損保ジャパン日本興亜アセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく交付目論見書や契約締結前交付書面をご覧下さい。

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第351号  
加入協会／一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

## 当資料のご利用にあたっての注意事項

- ◆当資料は、損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社により情報提供を目的として作成された資料です。したがって、勧誘を目的としたものではありません。また、法令等にもとづく開示書類ではありません。
- ◆投資信託は、主として値動きのある証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失が生じ、投資元金を割り込むことがあります。
- ◆当資料に記載されているグラフ・数値等は過去の実績を示したものであり、将来の成果等を保証するものではありません。当資料は弊社が信頼できると判断した各種情報に基づいて作成されておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。投資信託をお申し込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ずお受け取りの上、詳細をご確認ください。また、お申込みに関する決定は、お客さま自身でご判断ください。